

ANA 特別塗装機マリンジャンボも乗せて 「ANA 熱気球」が、大空に舞い上がります

～マリンジャンボを手がけたアートディレクターの大垣友紀恵さんがデザイン～



ANAでは、グループ社員提案制度「バーチャルハリウッド」において提案された、熱気球(愛称:「ANA SHINE DREAM」)を制作、10月30日から開催されるアジア最大の熱気球大会「2008佐賀国際バルーンフェスタ」に参加することとしました。その後、11月8日から行われる「スカイ・レジャー・ジャパン&エアポートフェスタ2008 in 静岡」などにも参加、今後、開催される多くのイベントに活用し、世界の人々に「夢」と「感動」をお届けします。

この熱気球「ANA SHINE DREAM」のデザインには、1993年9月12日、羽田 - 札幌線に登場したANA特別塗装機「マリンジャンボ」をデザインした大垣友紀恵さんをお願いすることとなり、再び、大空にマリンジャンボが出現します。マリンジャンボは、熱気球「ANA SHINE DREAM」の球皮にデザインされている飛行機のうち、側面2箇所デザインされています。イギリスのカメロン社で製作され、高さ約20m、横約15m、重量(カゴ、バーナー含む)約300kg、定員は2名です。



ANA特別塗装機「マリンジャンボ」は、ANAが1952年創業から累計搭乗者数が5億人を突破したことを記念して企画、機体のデザインを一般公募いたしました。当時、応募作品約2万点を超える中から小学校6年生の大垣友紀恵さんの作品「空飛ぶ鯨」が最優秀賞に選ばれました。その後、「マリンジャンボ」の愛称でボーイング747-400型機に、また「マリンジャンボ」の愛称でボーイング767型機に塗装され、世界中の方々から親しまれました。

「2008佐賀国際バルーンフェスタ」開催中の11月1日、熱気球「ANA SHINE DREAM」初飛行を記念して、現地でテープカットを行う予定です。これからもANAグループは、「安心」と「信頼」を基礎に世界の人々に「夢」と「感動」を届けます。

大垣友紀恵さんは、小さい頃から、絵画や作文などで、文部大臣奨励賞をはじめ数々の賞を受賞。千葉大学大学院でメディアデザイン等を学び、現在大手広告会社、株式会社アサツーディ・ケイのアートディレクター。NHK ハート展への作画、JA グループの「笑味ちゃん」他、絵本、イラスト、ポスター等、あたたかで楽しく夢のあるデザインを多方面で手がけています。

以上

ANA 熱気球デザインコンセプト

夢いっぱいの旅行の気分を、
旅先で出会うかもしれない魚や花、空をモチーフにデザインしました。
それは、まるで空飛ぶメリーゴーラウンド。

飾り幕が上がるとともに、メリーゴーラウンドは、回転しはじめました。
大空に咲いた全日空のシンボルフラワー、ひまわり。
美しい海に きらめく虹色の魚、
見たことのない青いチューリップや、戯れるちょうちょ。
モヒカンブルーの空には、飛行機の楽しいパレード。
ライン飾りには機長の肩章、ゴールドの四本線。

気球を近くから見る人々には、
それぞれのモチーフが、どの方向からも楽しめるように・・・
気球を遠くから見る人々には、
それぞれのモチーフの色が溶け合って、虹色の気球に見えるように・・・

あかるく、楽しく、夢いっぱいに、
輝け ANA の熱気球。

大垣友紀恵